

虫自のアイデアで事業展開

—つくば発— 地域でがんばる人たち

好調な運行の続くつくばエクスプレス(TX)と同線駅前周辺の沿線開発が注目されがちなつくば市だが、周辺部の各地域でも独自のアイデアや努力で事業を展開し、地域に貢献している人たちがいる。さまざまな分野の中から、次の人たちを取り上げた。



レンゲソウのきれいな田んぼで夢を語る
小久保社長

企業家精神で農業再生

筑波農場

つくば市小田で筑波山を背にした田んぼに広がるレンゲソウ。今では、同地区に欠かさない風景に成長した感がある。同地区で約50畝もの田んぼを要する筑波農場の取り組みだ。2006年秋には農業法人として、企業家精神で農業に取り組む小久保貴史社長(34)の姿は県内外の農場従事者の注目を集める。

肥料をふんだんに使
い、農薬の使用を最低
限に抑え、低温倉庫で
14度前後に保ち、1年
中、最高の状態を維持
している。

1993年度からは
食味検定機で90点を常
にクリア。安全でお
いしい、まぼろしの米
「常陸小田米」として
販売している。

需要に少しでも追い
つこうと、今年不休耕
田を除き、昨年比5畝
増の約35畝作付けし
た。有機米生産の一環
として、レンゲソウは
約5・8畝栽培し、田
植え前にすき込む。

休耕田では大豆や小
麦、そばを栽培。そば
は本格的な常陸秋そば
で人気が高い。オーナ
ー制度にも取り組み、
東京・千葉、埼玉など
から田舎体験希望者が
殺到する。

小久保社長は「つく
ば市は環境都市を目指
している。当農場も有
機栽培に取り組んでお
り、エコファーマーの
認証を受け、将来はエ
コ農産物の直売所も設
けたい」と、夢を広げ
ている。

問い合わせは、同農
場(電話029・86
7・3433、ファク
ス029・867・3
272)まで。